

佐太神社崇敬会へご入会ください

導きの神 みちび 佐太大神 さたのおおかみ (猿田毘古大神) さるたひこおおかみ をはじめ十二柱の神々、
この御社に集う八百万の神々からの広大無辺なる御神徳を授かりましょう

佐太神社崇敬会は平時における佐太神社を奉護して、御神徳を宣揚し、年中数度の古伝の祭事を
振興して、神社の隆昌を願い、御本殿三社をはじめ数々の文化財、社宝、美術品等を未永く後世に
伝えると共にこれを活用して文化の創造・発展に役立て、大神様の広大無辺なる御神徳のもと、人々
の平安と繁栄を願うものであります。佐太大神をはじめ十二柱の神々、この御社に集う八百万の神々
からの幸福、ご縁がいただかれますようご入会のご案内を申し上げます。尚、崇敬会の活動に対す
る寄付金も受付ております。既にご入会の方もご親戚、ご友人など多くの方々とのご神縁を結ん
でいただきたくご紹介いただきますようお願い申し上げます。

年会費

- ◆ 準会員 三千元
- ◆ 会員 五千元
- ◆ 正会員 七万円
- ◆ 法人会員 参万円

待遇

- ◆ 参拝時に御垣根にて拝礼が出来ます
- ◆ 祭事催しのご案内を致します
- ◆ 崇敬者大祭にご招待致します
- ◆ 毎年神札を授与致します
- ◆ 会員章を授与致します

ご入会方法は佐太神社社務所へお問い合わせください。ホームページからお申し込み頂けます。



崇敬会ご入会

去年御造営 第二期工事

第二期工事に伴う寄付金のお願い

氏子・崇敬者の皆様方のご支援、ご高庇を賜り平成の大修復事業として平成二十五年より御本殿三殿をはじめ
諸施設の修復を行い平成二十八年九月二十三日に無事正遷座祭を斎行申し上げました。ひとえに皆様方の深甚
なるご信仰の表れと厚く感謝申し上げます。引き続き神域の荒廃した部分を修復して愈々ご神徳の宣揚に奉仕
すべく第二期工事として「佐陀神能」を舞う舞殿の他、修復を実施計画をしております。誠に恐縮に存じますが、
皆様方の御懇情を賜り、ご神徳に報いることができますよう宜しくお願い致します。

ホームページからお申し込み込み頂けます。



第二期工事に伴う寄付金

佐太神社崇敬会だより かみありのやしろ **神在の社** 第四号 令和二年九月発行
特集「佐太神社の神楽3」 毎年発行 編集発行 佐太神社崇敬会 島根県松江市鹿島町佐陀宮内七三

写真撮影 加島美知 / デザイン 編集 坂本洋子

佐太神社崇敬会だより

神在の社

佐太神社崇敬会
令和二年 9月発行
第四号
特集「佐太神社の神楽 3」



佐太神社崇敬会

佐太神社社務所

〒690-0331 島根県松江市鹿島町佐陀宮内 73

TEL・FAX (0852) 82-0668

✉ info@sadajinja.jp

http://sadajinja.jp/

「神在の社」第四号 目次

特集 「佐太神社の神楽三」 / 「佐陀神能」活動報告

03	〇三	【ご挨拶】	佐太神社崇敬会 会長 宇藤 志郎
04	〇四	【特集】	佐太神社 宮司 朝山 芳園 「佐太神社の神楽 御田植祭」
06	〇六	【特集】	第二回「神座」神々への舞 各地に伝わる八岐大蛇の形態
08	〇八	【特集】	佐陀神能 国立劇場での演舞 佐陀神能保存会 会長 石橋 淳一
10	一〇	【特集】	後世へ伝えよう 子ども佐陀神能 子ども佐陀神能教室実行委員会 事務局 鹿島公民館 池田 俊貴
12	一二	【お知らせ】	祭事だより 十一月二十日～二十五日 神在祭
13	一三		一月七日 七草祭
14	一四		二月三日 節分祭
			二月十五日 管粥祭
15	一五		五月三日 直会祭
			六月三十日 水無月大祓
			七月十五日 御田植祭
16	一六	【報告】	令和元年度 佐太神社崇敬会事業報告 / 一般会計決算報告
17	一七		令和二年度 佐太神社崇敬会一般会計予算 / 計画 役員名簿
18	一八	【お知らせ】	式年御造営 第二期工事 進捗状況
19	一九		式年御造営 第二期工事に係る今後の方針について / 編集後記
20	二〇	【協賛】	崇敬会だより「神在の社」第四号にご協賛いただきました皆様



表紙写真
御田植祭
(令和元年七月十五日)
撮影 加島 美知

ご挨拶

佐太神社崇敬会 会長 宇藤 志郎

謹啓

時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

氏子・崇敬会会員の皆様におかれましては、平素より佐太神社並びに佐太神社崇敬会の儀につきまして毎々ご崇敬の思し召しをもって格別のご高配を賜り誠に有難く厚く御礼申し上げます。

さて、式年御造営第二期工事も順調に進み、直会殿の修復が完了し、現在は舞殿の修復工事が行われております。引き続き付属施設や境内の整備工事を進めて参りますので、ご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

ところで、今年は春先から新型コロナウイルス感染症の影響が全国的に及び、五月の直会祭では会員の皆様には参拝をご遠慮いただくなど大変ご迷惑をおかけいたしました。日を追うごとに少しずつではありますが参拝客も戻りつつあります。どうぞ会員の皆様にはお身体ご自愛の上、ご健勝にてお過ごしになりますことを心よりご祈念申し上げます、ご挨拶いたします。

敬具



崇敬会だより「神在の社」第三号（令和元年九月発行）では、特集「佐太神社の神樂」として、国庁神事（巫女の舞・地固の舞・猿田三番の舞）についてお伝えしました。本号では御田植祭についてご紹介致します。

特集

佐太神社の神樂

御田植祭

佐太神社 宮司 朝山 芳圀



佐太のお社の古伝の祭事には**欽初祭**・**管粥祭**・**代満祭**・**除蝗祭**・**田植祭**・**新嘗祭**等農事に関する祭事が多くみられるが、明治維新以後社家の減少によって行われなくなった祭事の中で**管粥祭**、**田植祭**、**新嘗祭**は今も執り行われている。



田植祭はもとは十二月二十一日早稲祭、二十二日は中稲祭、二十三日は晩稲祭で三日間に亘って行われていた夜祭りであった。この祭りは翌年の豊作を祈念する予祝の祭りであったが、大正の中頃に再興して、直会殿の式であったものを庭上に移し昼祭りとし、佐太小学校の高学年の女子生徒に伝習させ、七月十五日施行することにした。この七月十五日というのは神仏習合時代、大念仏の日で近くの村々の人々が、神前に鑿鉦を打って入って来た日であった。

戦争が始まり再び行うことが出来なくなり、戦後昭和四十年頃に神能保存会と戦前にご奉仕してくださった方々の協力で行った。

復興することが出来、小学校の女子生徒に早乙女、男子生徒に歌人として奉仕していただくことになった。

もとは当社の付属地の鹿島町武代の字「苗ノ松」にある苗松の松樹の葉を採り、巫女に授けて田植式を行った。この松葉は雲陽誌に「苗松、一丈五尺バカリノ古木ナリ、佐陀大社十二月廿一日ヨリ廿三日マデノ祭祀ノ時、此松ノ葉ヲトリ苗トシテ神田植神事アリ。故ニ苗松ト云フ。」と見えるもので苗祝はぶりという祝部があつてその事にあづかつていたという。

さて神賑が黒豆御供を献じ、祝詞を奉じた後、早乙女が田植の行事を始める。音頭が鑿を打ち、歌人が歌を連唱し、

アラ芽出度 去年ヨリ今年ヤ俵タマル
※(三回繰り返し)

※この歌を歌い始めると早乙女は、両側に座ったまま松葉を練り始め、一同連唱と共に松葉を練ることを続ける。

ヤヨヤヨト 小竹ノ節ニサイタゲナ
※(三回繰り返し)

阿具山カラ 島根ヲ見レバ シヨボロ声
※(三回繰り返し)

音頭 アサカニヤレ 駒参ラスレ 何駒ヲヤレ 何駒ヲ
歌人 芦毛ノ駒ニ 手綱稔リ掛ケテ 手綱ヨリ掛ケテ

音頭 勢ハソソリタコナル シコク蒔イタル 苗ハ
歌人 何時取り満テウカ シコク蒔イタル 苗ハ

音頭 苗ハ揉上ル 蝗殿ハ
歌人 何處ニ宿ロカ 蝗殿ハ

音頭 モミ上げ
歌人 若者

音頭 モミアゲ
歌人 若苗

音頭 モミアゲヤ
歌人 若苗ヤ

(一同連唱) アーラ目出度ヤ 此ノ田ニ俵ガ千出来タ
※(三回繰り返し)

※この歌を歌う間、早乙女は一足毎に松葉を左右に投げつつ三度進退する。そして歌の終る時、もとの如く左右に分れて座に復し一同御目出度うございますと云って互礼を行って式を終る。



尚、ご承知の通り新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から当社諸祭儀につきましては神賑のみにて斎行致して居ります。引続き御参列は御遠慮戴くことになろうかと存じますが、諸事情御賢察の上、何卒ご協力賜りますようお願い申し上げますと共に、一日も早い事態の終息をお祈りするばかりでございます。

暑さ厳しい折皆様のご健勝を心よりお祈り申し上げます。

神座 ― 神々への舞 ― 大蛇 各地に伝わる八岐大蛇の形態

カムクラ

オロチ

ヤマタノオロチ

去る令和元年十月六日に開催いたしました第二回『神座く神々への舞』開催に際しましては皆様方のご支援・ご協力を賜り有難く厚く御礼申し上げます。

今回の開催については天皇陛下御即位記念御奉祝行事として佐太神社・佐陀神能保存会（二社）松江観光協会鹿島町支部・鹿島町づくり会議、佐太地区自治会、宮内区が実行委員会を組織して計画し、神社・保存会・地元が一体となり出雲国二ノ宮の佐太神社に相応しい奉祝行事を執り行うことができました。大神様等もさぞやお喜びのことと思います。

「大蛇く各地に伝わる八岐大蛇の形態」と題し、各地に伝わっている古事記・日本書紀の八岐大蛇退治の神話を題材にした神楽について、大蛇の四つの形態（立ち大蛇、

トカゲ蛇、幕蛇、提灯式蛇胴）に着目し、神楽文化の多様性を分かりやすく表現すると共に、神楽への理解と伝統文化の継承に対する機運醸成や地域連携による交流人口の拡大を図りたいと考え、「比婆荒神神楽社」の拡大を図りたいと考え、「比婆荒神神楽社」

「見々久神楽保存会」「奥飯石神楽保存会」の皆様と「佐陀神能保存会」の四団体による演舞いただきました。同じ演目でそれぞれの特徴を比較するという画期的な企画で、どの団体も素晴らしい演舞で伝統を守り受け伝えておられることに感銘を受けました。この貴重な舞を末永く共に後世に伝えていきたいと思えます。

末筆となりますが、諸事多難な折、本事業の趣旨にご賛同ご協力いただきました皆様方に心より御礼申し上げます。誠にありがとうございました。

（佐陀神能保存会会長 石橋淳二）

先人から伝えられた有形無形の遺産

今回の「神座」は、各地で守り伝えられてきたオロチ退治の神楽が一堂に会する貴重な機会だったと思います。一観客としては、出雲という狭い範囲で伝承されてきた、見た目も動き方も異なる様々なオロチを目の当たりにし、ヤマタノオロチ伝説ゆかりの地で暮らしてきた人々の想像力の豊かさに感心させられました。神楽に限らず、各地で伝承されている芸能や祭礼行事は決して不変ではなく、長い年月の間に、様々な出来事や人の手を経て、少しずつ変化して、現在に至っています。今、私たちが多彩なオロチの姿を観ることができるのは、それぞれの土地で生まれ、大切に受け継がれてきたからに他なりません。先人から伝えられた有形無形の遺産を今後も引き継ぐことは、今の時代、容易ではありませんが、今回の「神座」が、伝承者にとっては他の神楽との違いを知り、自分たちの神楽の独自性や大切にしたい部分を再認識するきっかけになることを願ってやみません。

島根県教育庁文化財課

古代文化センター 石山祥子

（神座報告写真集より抜粋）



比婆荒神神楽社「八重垣の能」提灯式蛇胴



見々久神楽保持者会「八頭」トカゲ蛇

佐陀神能保存会「八重垣」立ち大蛇



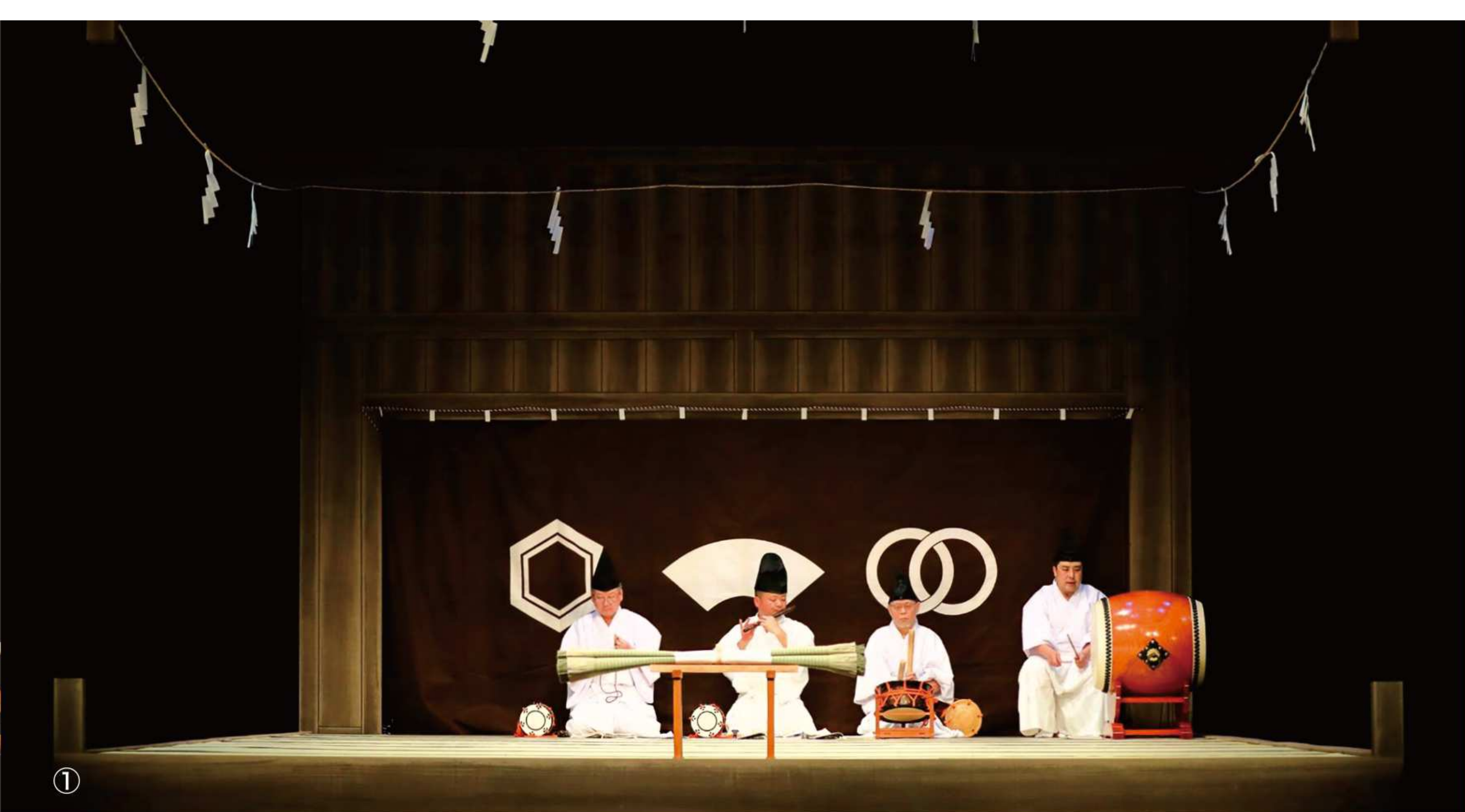
奥飯石神楽保存会「八頭」幕蛇



（写真左）報告写真集／（写真右）神座開催当日用のプログラム
報告写真集の発行にあたり古代文化センター 石山祥子様にご寄稿いただきました。



佐陀神能 伝統芸能の聖地 国立劇場での演舞



①

去る令和二年一月二十五日 国立劇場（東京都千代田区隼町）において「日本博」主催・共催型プロジェクト二〇一九年度日本博を契機とする文化資源コンテンツ創成事業『出雲の神楽』が開催されました。主催：文化庁、独立行政法人日本芸術文化振興会（国立劇場）

国立劇場での演舞は佐陀神能保存会が昭和五十六年以来二回目、大土地神楽は初めてで、出雲地方を代表する二団体の競演となりました。

担当の方によると国立劇場での民俗芸能公演で昼・夜の二回とも満席になることは珍しいとの事。同じような演目を演舞しそれぞれの特徴を見ていただくという趣向で、お客様も興味深く観劇されていました。



大土地神楽保存会神楽方（島根県出雲市）との競演 神能「野見宿禰」

事前に丸山島根県知事、松浦松江市長から激励のお言葉を賜り、伝統芸能の聖地とも言える国立劇場において演舞できまる思いでした。

今後も保存継承活動に誠意取り組んでまいりたいと存じますので引き続きご厚誼を賜りますようお願い申し上げます。

（佐陀神能保存会会長 石橋淳二）

国立劇場一月民俗芸能公演 出雲の神楽

- 【午後1時開演】 佐陀神能 七座「御座」 神能「三韓」
大土地神楽 七座「悪切」 神能「八戸」
- 【午後5時開演】 大土地神楽 七座「莫座舞」 神能「野見宿禰」
佐陀神能 七座「剣舞」 神能「八重垣」

国立劇場「出雲の神楽」
（リハーサル風景）
①④七座「御座」
②⑤⑥神能「三韓」
③神能「八重垣」
⑦七座「剣舞」
⑧国立劇場前にて
（佐陀神能保存会）



②



⑥



③



⑦



④



⑧



⑤



⑧

子ども佐陀神能

子ども佐陀神能教室実行委員会 事務局 鹿島公民館

池田 俊貴



子ども佐陀神能 太鼓の体験

このたび令和元年六月、文化庁「伝統文化親子教室事業」の補助を受け「子ども佐陀神能教室」を立ち上げました。この教室は佐陀神能の保存継承と青少年の健全育成を目的に鹿島町青少年健全育成連絡協議会・佐陀神能保存会・松江市鹿島支所・鹿島公民館の共催で行っており、地元鹿島町を中心に松江市内の小学生児童十二名が参加しています。

練習は月一度、鹿島公民館のホールで行っています。いつもは「いけず子（いざらっ子・やんちゃな子）」な子どもたちも、剣や鈴を手につけて、衣装を纏うと凛々しい表情に様変わり。時には休憩を惜しんで練習に励むなど、とても熱

心に頑張っています。そのほか「佐陀神能定期公開」や地域の例大祭など保存会が公演される機会を鑑賞し、勉強に励んでいます。教室では舞の上達はもちろん、あいさつや礼儀作法、道具を大切に扱うことなど日常生活での成長も願いつつ指導者の皆さんと相談しながら取り組んでいます。

また成果発表の機会として十二月と二月に発表会を行い、男子は「剣舞（けんまい）」、女子は「巫女舞（みこまい）」を披露しました。佐陀神能の厳かで流れるような美しい動作は表現が難しく、根気と集中力が必要なので上手にできるか



子ども佐陀神能 基本動作の練習

ハラハラドキドキしていましたが、みんな立派な舞を見せてくれました。
この一年間の取り組みを経て、多くのマスコミに子ども教室の活動を取り上げていただき、たくさんの方に佐陀神能について理解していただく大変良い機会に

子ども佐陀神能「剣舞」保護者が見守る中 発表会



子ども佐陀神能「巫女舞」発表会の様子

なりました。少しずつではありますが、子ども教室の目的である伝統文化の保存継承と青少年の健全育成について手ごたえを感じているところです。

このところ新型コロナウイルス感染拡大防止のため三月から練習を休止しておりましたが、令和二年六月現在、練習再開と新規参加者募集の準備を進めております。今後は新しい演目を覚え、御座替祭への参加や、地域の行事など様々な機会への出演を行っていききたいです。そして将来的には子ども教室の参加者の中から、保存会として継承活動に携わる人材が育ってくれたら嬉しいです。

かくいう私も、子ども教室のお世話をきっかけに保存会の一員として継承活動に参加させていただくことになりました。まだまだ実力不足ですが、諸先輩方の指導のもと、教室の子どもたちと切磋琢磨しながら伝統文化の継承に尽力したいと思っております。

皆様におかれましては、今後も地域の子どもたちの成長と、佐陀神能の継承活動を温かく見守ってくださいませよう、よろしく願いいたします。



佐陀神能保存会の指導者の皆さんと記念撮影（後列左端が筆者）

祭事だより

年間を通して佐太神社では様々な古伝の祭りが執り行われます。その一部をご紹介します。



令和二年五月三十一日 神在裏月祭 止神送神事

一月七日 七草祭

ナナクササイ

一月七日 七草祭を斎行しました。氏子崇敬者の皆様の家内安全・無病息災を祈念いたしました。古傳により七草粥を炊いていただきます。



十一月二十日〜二十五日 神在祭

ジンザイサイ

十一月二十日神在祭神迎神事を斎行しました。社伝によると当社は伊奘冉尊の陵墓である比婆山の神陵を遷し奉った社と伝え旧暦十月は母神である伊奘冉尊を偲んで八百万の神々が当社にお集りになるとされています。二十五日には神等去出神事が執り行われました。



※今年には新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、祈願はできるだけ郵送にてお願い申し上げます。



二月三日 節分祭

セツブンサイ

二月三日節分祭を斎行しました。氏子崇敬者の皆様の家内安全・無病息災を祈念致しました。夕刻には節分祭かたしろのお焚き上げを行いました。当日は氏子有志の皆さんにより鯨汁の振る舞いがあり多くのご参加を頂きました。御祈願をお申込みされた方には福豆を授与致しました。



二月十五日 管粥祭

クダガユサイ

二月十五日 古伝祭 管粥祭を斎行致しました。忌火で小豆粥を炊きその中に竹筒を入れ、詰まり具合で農作物の吉凶を占うものです。今年「早稲七歩五厘 中稲八歩五厘 晩稲八歩」となりました。近郷の農事組合法人、篤農家の参拝を頂き五穀豊穣をお祈り申し上げます。



五月三日 直会祭 (悪縁切り良縁結び大祭)

ナオライサイ

五月三日 佐太神社崇敬会大祭と悪切り祈禱及び当社古伝神事の直会祭を行いました。悪切祈禱は古来より出雲地方に伝わる祈禱の舞で、諸々の災い、病災を切り祓います。新型コロナウイルス感染拡大防止の為、神職のみで行いました。



六月三十日 水無月大祓

ミナヅキオオハラエ

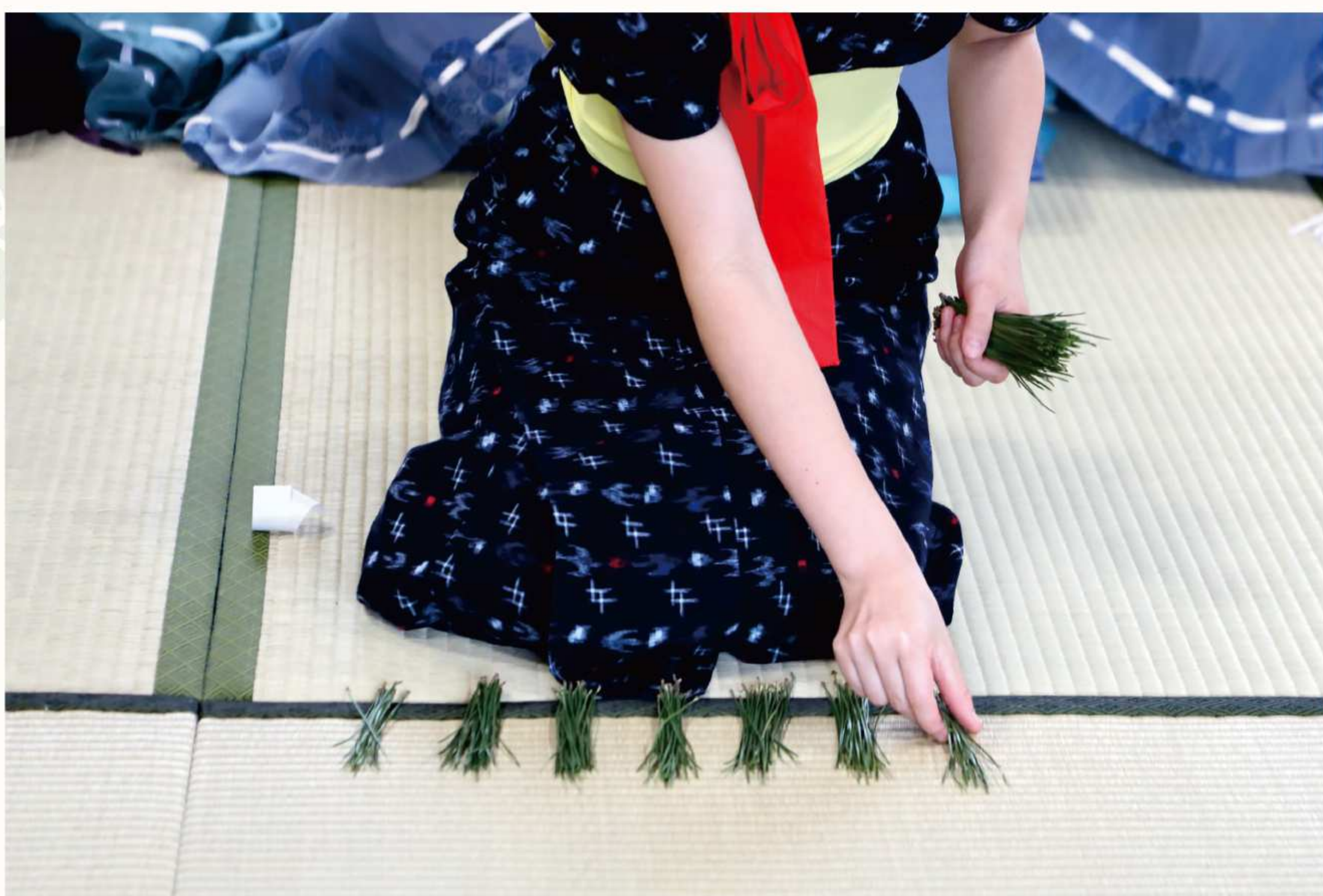
六月三十日 嘉例により水無月大祓を斎行致しました。この祭は夏越大祓とも云い、半年の間に知らず知らずのうちに身に付いた罪穢れを祓い、清らかな身に立ち返らんとする神事で、『備後国風土記』の逸文にある「蘇民将来」神話では茅ノ輪を腰につけて災厄から免れたとされ、茅の旺盛な生命力が神秘的な除災の力を有すると考えられてきました。



七月十五日 御田植祭

オタウエサイ

七月十五日 古伝祭 御田植祭を斎行致しました。来年の豊作を祈る予祝の祭りです。今年は新型コロナウイルス感染拡大防止の為、奉仕者・参列者の人数を制限させていただきました。祭の最後に直会として御神酒と熟饅(黒豆と白米を忌火で調理)を参列者に振舞いました。



令和2年度 佐太神社崇敬会一般会計予算書

佐太神社崇敬会は平時における佐太神社を奉護して、御神徳を宣揚し、年中数度の古伝の催事を振興して、神社の隆昌を願ひ、御本殿三字をはじめとした国・県指定の文化財・美術品等の社宝を末永く後世に伝えると共にこれを活用して文化の創造・発展に役立て、广大無辺なる御神徳のもと、広く人々の平安と繁栄を願ひ設立されました。この趣旨にご賛同いただき多くの方々にご入会、ご支援を賜り、更なる奉賛事業の発展に取り組んでまいりたいと存じます。

令和2年4月1日～令和3年3月31日
(単位:円)

【歳入】				
項目	今年度予算額	前年度予算額	増減	備考
繰越金	564,453	491,034	73,419	
会費	2,100,000	2,100,000	0	
寄付金	40,000	40,000	0	一般寄付等
雑収入	547	966	▲419	貯金利息等
合計	2,705,000	2,632,000	73,000	

【歳出】				
項目	今年度予算額	前年度予算額	増減	備考
玉串料	100,000	100,000	0	祭典玉串料
奉賛事業費	900,000	1,100,000	▲200,000	
古伝祭奉賛事業	200,000	200,000	0	古伝祭費用補助として佐太神社へ寄贈
崇敬者大祭奉賛事業	300,000	300,000	0	
修繕・環境整備事業	300,000	300,000	0	修繕・環境整備費用補助として佐太神社へ寄贈
式年御造営奉賛事業	100,000	300,000	▲200,000	佐太神社施設整備特別会計へ繰り入れ
事務費	700,000	700,000	0	
会議費	50,000	50,000	0	役員会 総会費用
手当	10,000	10,000	0	監査手当等
通信費	150,000	150,000	0	郵送・インターネットプロバイダ料金
印刷製本費	320,000	320,000	0	祭事案内、封筒印刷費
消耗品費	30,000	30,000	0	
旅費・交通費	30,000	30,000	0	
広報費	100,000	100,000	0	公式ホームページ管理費用等
雑費	10,000	10,000	0	郵便振替手数料等
委託料	243,800	180,000	63,800	
システム使用料	150,000	150,000	0	顧客・仕入管理システム使用料
保守料	63,800	0	63,800	顧客・仕入管理システム保守料
事務委託料	30,000	30,000	0	佐太神社へ寄贈
補助金	290,000	290,000	0	古伝神事保存協会補助 佐陀神能保存会補助 節分祭催し補助
基金	150,000	150,000	0	定期預金等
予備費	112,000	112,000	209,200	
合計	2,705,000	2,632,000	73,000	

歳入合計	歳出合計	差引残高
2,705,000	2,705,000	0

(単位:円)

令和元年度 佐太神社崇敬会事業報告

去る6月25日に崇敬会理事会・評議員会が開催され、令和元年度事業及び会計報告令和元年度事業計画及び予算案が以下のとおり承認されましたのでご報告申し上げます。会員の皆様方におかれましては、今後とも当会の趣旨に御理解と御協力を賜ります様お願い申し上げます。

月日	事業・祭事名	概要
5月3日	崇敬者大祭	佐太神社の発展とともに广大無辺なる御神恩を奉謝し国家の弥栄と崇敬者各位の家運隆昌・無病息災を祈念／関連祭事／悪切祈禱の奉納／佐太神社前市の開催／参列者名40名
6月25日	理事・評議員会(総会)	平成30度活動・決算報告 令和元年度予算・活動計画の承認等
9月24日～25日	御座替祭・例祭	御座替祭・例祭への参列案内送付 佐陀神能拝観席設置
11月20日～25日	神在祭	御神灯奉納受付・燈明 参列案内送付
2月3日	節分祭	氏子有志による鯨汁ふるまいに係る経費の補助
通年の活動	式年御造営奉賛活動	寄付金の募集 第二期工事記念御守り・御朱印帖作製
	古伝祭奉賛事業 修繕・環境整備事業	古伝祭継承、修繕・環境整備事に係る費用の補助 佐太神社へ寄贈
	広報事業	各祭事に案内状(パンフレット)作製・送付 崇敬会入会案内・御神燈奉納願(パンフレット) 作製・送付／崇敬会だよりの発行／公式ホームページやFacebook等で祭事関連の話題を掲載
補助事業	佐太神社古伝神事保存協会 佐陀神能保存会への活動補助金 節分祭催しの補助金	

会員への待遇	
①年末に神札・お守りを授与	
②各祭事に参列案内を送付	
③希望者に御本殿御垣内参拝	

加入状況	
会員数	件数(増減)
準会員	90件(△9)
会員	135件(△6)
正会員	98件(△5)
法人会員	17件(0)
合計	340件(△20)

佐太神社崇敬会役員名簿

平成30年4月1日～令和3年3月31日(敬称略)

役職	団体名	氏名	備考
会長		宇藤 志郎	佐太神社責任役員 総代長
副会長		佐藤 尚士	株式会社佐藤組 代表取締役 佐太神社総代
副会長		秋山 辰雄	佐太神社総代
顧問		朝山 芳圀	佐太神社代表役員 宮司
理事		朝山 哲	佐太神社禰宜
理事		井上 嘉保留	佐太神社総代
理事		井山 定夫	佐太神社総代
理事		井山 隆	佐太神社総代
理事		亀城 幸平	佐太神社総代
理事		新宮 文雄	佐太神社総代
理事		中村 榮治	
理事		藤井 廣志	
理事		山崎 廣安	佐太神社総代
評議員	一畑電気鉄道 株式会社		
評議員	カナツ技建工業 株式会社		
評議員	株式会社 山陰合同銀行		
評議員	株式会社 島根銀行		
評議員	島根県合板共同組合		
監事		桑谷 充男	佐太神社総代
監事		龍谷 剛	佐太神社総代
事務局長		石橋 淳一	佐太神社権禰宜
事務局員		金津 信子	

令和元年度 佐太神社崇敬会一般会計決算報告書

平成31年4月1日～令和2年3月31日
(単位:円)

【歳入】				
項目	決算額	今年度予算額	増減	備考
繰越金	491,034	491,034	0	
会費	2,113,000	2,100,000	13,000	
寄付金	119,300	40,000	79,300	
雑収入	2	966	▲964	貯金利息等
合計	2,723,336	2,632,000	91,336	

【歳出】				
項目	決算額	今年度予算額	増減	備考
玉串料	100,000	100,000	0	祭典玉串料 佐太神社へ寄贈
奉賛事業費	932,400	1,100,000	▲167,600	
古伝祭奉賛事業	200,000	200,000	0	佐太神社へ寄贈
崇敬者大祭奉賛事業	274,000	300,000	▲26,000	
修繕・環境整備事業	300,000	300,000	0	佐太神社へ寄贈
式年御造営奉賛事業	158,400	300,000	▲141,600	
事務費	512,627	700,000	▲187,373	
会議費	42,287	50,000	▲7,713	理事・評議員会費用等
手当	10,000	10,000	0	監査手当
通信費	77,270	150,000	▲72,730	インターネットプロバイダ料金等
印刷製本費	261,070	320,000	▲58,930	崇敬会だよりの発行、祭事案内、封筒印刷費
消耗品費	0	30,000	▲30,000	
旅費・交通費	30,000	30,000	0	
広報費	92,000	100,000	▲8,000	公式ホームページ管理費用等
雑費	0	10,000	▲10,000	振替手数料等
委託料	173,856	180,000	▲6,144	
システム利用料	143,856	150,000	▲6,144	顧客・仕入管理
事務委託料	30,000	30,000	0	事務委託料として佐太神社へ
補助金	290,000	290,000	0	古伝神事保存協会補助 佐陀神能保存会補助 節分祭催し補助
基金	150,000	150,000	0	定期預金
予備費	0	112,000	▲112,000	
合計	2,158,883	2,632,000	▲473,117	

歳入合計	歳出合計	差引残高
2,723,336	2,158,883	564,453

(単位:円)


上記の残額は、令和元年度会計へ繰り越すものとする。


平成31年4月1日～令和2年3月31日
(単位:円)

【一般会計帳簿・通帳・現金の内訳】		
内訳	残高	備考
山陰合同銀行普通口座	191,721	
島根銀行普通口座	122,732	
郵便振替口座(会費納入用)	3,000	
郵便振替口座(寄付納入用)	0	
現金	247,000	
合計	564,453	

【基金】		
内訳	残高	備考
山陰合同銀行定期預金口座	492,095	スーパー定期6315005-003
山陰合同銀行定期預金口座	240,243	スーパー定期6315005-004
山陰合同銀行定期預金口座	240,195	スーパー定期6315005-005
山陰合同銀行定期預金口座	140,084	スーパー定期6315005-006
山陰合同銀行定期預金口座	300,116	スーパー定期6315005-007
山陰合同銀行定期預金口座	140,024	スーパー定期6315005-008
山陰合同銀行定期預金口座	150,013	スーパー定期6315005-009
現金	150,000	
合計	1,852,770	

監査の結果、左記に相違ございません。
令和2年6月15日

監事 龍谷 剛 

監事 桑谷 充男 

報告

式年御造営第二期工事 進捗状況

直会殿の修復工事が完了致しました

ご参拝の皆様にはご迷惑をお掛け致しましたが、直会殿の修復工事が無事に完了致しました。ご協力頂き誠にありがとうございました。



直会殿修復工事
設計：石原社寺建築設計事務所
施工：松江土建 株式会社



式年御造営第二期工事に係る 今後の方針について

平成二十四年より佐太神社御造営奉賛会を設立し、鋭意式年御造営工事及び奉賛活動を進めてまいりましたが、令和元年五月三十一日をもって予定通り解散し、引き続き佐太神社崇敬会で御造営工事計画の実施と奉賛活動を進めていくことになりました。当初、社務所修復工事・参道バリアフリー化工事を計画しておりましたが、昨今のノートルダム大聖堂や首里城などの貴重な文化財の火災事故を受け、文化庁また神社本庁より防災計画を見直すよう指導があり、昨年には文化庁の防災担当者の方も現地視察をされ 佐太神社の防災設備が現状のところ消火器と火災報知機を設置しているだけで非常に脆弱であり早急に改善したほうがよいとのご指導をいただきました。このため、文化庁の防災プログラム補助金を利用して 早急に防災設備を整備できるよう関係各所と協議を進め



佐陀神能舞殿保存修理工事
設計：石原社寺建築設計事務所
施工：カナツ技建工業 株式会社
工期：令和2年1月16日～令和3年6月末

ておりますが、これに伴い今後防災設備工事による所有者負担の費用が発生する場合があります。当面のところ当初の修復計画を休止し、防災設備工事の計画内容・所有者負担が確定してから再度検討させていただきます。また、舞殿修復工事は佐陀神能保存会が改修工事実施主体となつて文化庁の補助プログラムを活用し、島根県・松江市のご支援をいただきながら令和三年六月に完工予定で進んでおります。氏子・崇敬者の皆様にはご不便をおかけしますがご理解とご協力のほどよろしくお願い致します。



令和二年四月三日

舞殿地鎮祭

去る令和二年四月三日に舞殿の地鎮祭が執り行われました。松江市観光振興部 高木部長様、設計 石原社寺設計様、施行 カナツ技建工業株式会社様、神社総代のご参列を賜りました。



編集後記

世界規模のコロナ禍は医療問題、そして経済問題、さらには国際問題まで多岐にわたり非常に複雑かつ深刻な状況です。また七月に入り九州地方など各地に甚大な被害をもたらした豪雨災害と災禍が相次いでおります。皆様の安全と被災地の一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症については、国や地方自治体等が各種の対策を講じておりますが、全国の神社の活動にも少なからず影響が及んでいます。当社におきましても対応に万全を期して継続して正確な情報収集に努め冷静に対応をし、祭祀を齎行するように心がけております。しかしながら今後の状況如何では祭礼時の規模や形態を考慮し参拝の制限など慎重に検討させて頂きたいと存じます。ご迷惑・ご不便をおかけしますが何卒ご理解の程宜しくお願い致します。

美しい伝統・文化を
未来へつなぐ

EMOTION
SMILE 
HUMAN
FUTURE

カナツ技建工業株式会社

〒690-8550 島根県松江市春日町 636 番地 TEL.0852-25-5555 FAX.0852-27-1207
HP <http://www.kanatsu.co.jp/>



モバイルサイトはこちら

クリーンエネルギーの町 鹿島町



株式会社 **テクニカルカンパニー**

松江市鹿島町佐陀本郷27番地3 〒690-0332
TEL 0852-82-3911 FAX 0852-82-3930

思い出の形をそのまま。

大切なお住・貴重な建築物を後世へ

 株式会社 **ソニヤマ**

創業明治45年

〒699-0741 出雲市大社町中荒木 975-1 TEL:0853-53-5685 / FAX:0853-53-5014
一般社団法人日本曳家協会会員 地盤保証検査協会登録店



山本和良土地家屋調査士事務所
土地家屋調査士 山本和良

〒690-0322 島根県松江市鹿島町恵曇 424
TEL・FAX(0852)82-0800
kisuke-2@mable.ne.jp

建築用石材設計施工



有限会社 **石匠**
斐川営業所/〒699-0502 島根県出雲市斐川町莊原2925-3
事務所 TEL (0853)72-6513・FAX 72-6557

御守・鈴守・和紙守

来栖美商有限公司

〒307-1705
茨城県笠間市東平二丁目12番14号
TEL (0296) 71-7633 FAX (0296) 71-7632

青山 淳子



本社 〒693-0021 島根県出雲市塩冶町 1225-39
TEL : 0853-22-6578 FAX : 0853-23-2856

<http://cs-konishi.co.jp/>

東京都 金杉 尚道

寺本 勝彦

社寺銅板葺/銅板細工/各種建築板金工事一式



纏屋
和田板金

MATOIYA WADABANKIN
SHAJI DOUBANBUKI

〒683-0853
鳥取県米子市両三柳366
TEL/0859-49-1105
FAX/0859-21-9166
E-mail/surf.one.wan@gmail.com

建設業許可
鳥取県知事 許可(般-29)
第7216号



快適環境を創造する

サンベ電気株式会社

〒690-0017 島根県松江市西津田十丁目13番36号
TEL : (0852)27-1008 FAX : (0852)27-1553

<http://www.sanbe-denki.co.jp>

佐太神社崇敬会だより

神在の社

佐太神社崇敬会だより 「神在の社」 第四号(令和二年九月発行)

ご協賛いただき誠にありがとうございました

開発・設計から納入まで一貫生産
多様なオーダーに対応するものづくり企業です



"Only One" で世界に挑戦 Shimane Jidoki Co.,Ltd.

当社は、電池、電気・電子部品、自動車部品、医療機器関連部品、などの生産用設備 (FA装置) を開発製造しています。

お客様の仕様に基づく自動機械システムを構想、開発・設計、部品製作、機械組立、電気制御、調整、納品まで社内で一貫生産しています。

私たちが納入した多くの装置が、日本国内のみならず、世界の生産工場で活躍しています。



メカトロニクスで未来を創造

島根自動機株式会社

〒690-0331 島根県松江市鹿島町佐陀宮内784
TEL: (0852) 82-0576 / FAX: (0852) 82-2702
<https://www.shimane-jidoki.com/>

伝統建築技術の継承

日本建築美の追求

文化財建造物修理 神社仏閣建築
株式会社 石原建築

本社 〒694-0431 島根県大田市祖式町359-1
TEL (0854) 85-2355
FAX (0854) 85-2425

出雲支店 〒693-0213 島根県出雲市朝山町627-1
TEL (0853) 48-9000
FAX (0853) 48-9025

社寺の石原 検索

石原社寺建築設計事務所

traditional design produced by ishihara

島根県出雲市朝山町627-1
TEL: 0853-48-9000 FAX: 0853-48-9025